

学校図書館を活用した「読み」を鍛える拠点校事業 実践記録

研究主題

「思考力、判断力、表現力の育成」
～読み取り、考えを深め、伝える 活動を通して～

黒潮町立大方中学校

実践概要：

本校では、まず読書環境の充実を目指して平成 30 年度に作成した「学校図書館活用年間計画」を基に、公共の図書館と連携を図りながら、有効な図書館資料の選定及び活用についての工夫・改善を行ってきた。また、令和元年度は言語能力及び情報活用能力の育成を目指して、全教科（9教科）で作成した授業改善プランを基に、共通の取組を明確にし、学習の必然性をもたせるめあての設定や言語活動の工夫など、授業の質の向上に取り組んできた。さらに、「国語科授業づくり講座」の実践を通して、資質・能力ベースの授業づくり、単元を通して見方・考え方が成長する授業づくりについて研究し、改善を図った。教科長会、教科部会を定期的に関き、取組の進捗管理・検証を行い、その後の授業改善に生かしながら取組を進めてきた。
キーワード：読書環境の工夫、全教科における授業改善プラン、学力調査を活用した組織的な取組

1. 研究仮説

以下の研究に取り組むことで、読解力が高まり、一人一人が主体的に学び、深く考え、表現できる生徒が育成され、確かな学力を育むことができると考えられる。

- ・ 図書館資料や新聞の活用を通して、言語活動の充実を図る授業実践の研究に取り組む。
- ・ 各教科等で付けたい資質・能力の育成に向けた取組を明確にし、定期的な検証、改善を行う。
- ・ 主体的・対話的に学ぶ探究的な授業づくりの実践研究に取り組む。

2. 実践方法

- (1) 効果的な新聞及び図書館資料等の活用と言語活動の充実を図る実践研究
 - ①「学校図書館活用年間計画」を作成し、有効な図書館資料の選定及び活用についての工夫・改善を行った。
 - ②全教科で教科の学習用語を使い、適切に表現する力、根拠を明確にして表現する力の育成に向けた取組を行った。
- (2) 言語能力や情報活用能力を育成する実践研究
 - ①全教科（9教科）で授業改善プランを作成し、言語能力、情報活用能力の育成に向け授業実践を行った。
 - ②課題改善に向けて全教科等で共通の取組内容を明確化し、工夫・改善を図った。
- (3) 主体的・対話的に学ぶ探究的な授業づくりの実践研究
 - ①問題解決的な授業を目指し、学習の必然性をもたせる「めあて」の工夫や課題設定の在り方についての研究を行った。
 - ②5教科でノート活用の工夫・改善を行った。
- (4) 学力調査を活用した組織的な取組

①教科部会を週時程に位置付け、併せて教科長会を定期的に行った。

②「全国学力・学習状況調査」「高知県学力定着状況調査」を分析し、その後の方向性を確認した。

(5) 読書活動の推進

①読書活動の推進につながるよう環境整備を工夫した。

3. 実践内容

(1) 効果的な新聞及び図書館資料等の活用と言語活動の充実を図る実践研究

①年度当初の教科部会の中で、平成 30 年度に作成した「学校図書館年間活用計画表」を基に、令和元年度授業に活用する図書館資料を検討し、新たに計画表を作成した。計画表に基づいて図書館資料を活用し、学期ごとにデータの上書きを行い、活用状況を把握できるようにした。その際、実際に活用した資料が授業で有効か否かを A, B, C の 3 段階で評価した。

図書館資料を活用する中で、学校図書館に有効な資料がない場合は、地域の図書館と連携し、関連図書資料を準備するなど、生徒が授業の中で多様な情報に触れられるよう工夫した。また、言語活動の充実に向け、図書館資料等の効果的な活用について見直しを図りながら取り組んだ。

②言語活動の充実を図るため、教科の学習用語を使って説明する、考えを伝える等の場面を各教科で設定した。また、発言の際には必ず自分の考えの基となる根拠を明確に示して発言させることを全教科等で確認をし、取り組んだ。

(2) 言語能力や情報活用能力を育成する実践研究

①各教科の一年間の具体的な到達目標とその手立てを明確にするために、「授業改善プラン」

を基に、教科長会・教科部会の中で取組の進捗状況を確認しながら、その都度取組を検証し、改善を図った。学期末の総括として、各教科の成果と課題を校内研修の中で全体共有し、今後共通して取り組む方策等を確認した。

②平成30年度は、「必要に応じて内容を正確に読み取る力」が身に付いていない等の課題改善に向けて、大事だと思った箇所に線を引く、グラフや図にチェックを入れながら読む、分からない語句は辞書で調べる等の活動に取り組んだが、十分な課題改善につながらなかった。令和元年度は平成30年度の課題を踏まえ、教科長会で本校における学力課題を明確にし、全教科で共通理解を図りながら取組を進めた。

【課題】

- ・必要に応じて文章を正確に読み取る力
- ・問われていることを正確に把握し、適切に答える力
- ・正確に内容を読み取るための語彙力
- ・教科の学習用語を使いながら筋道を立てて説明すること

【教科共通の取組】

- ・めあての設定を工夫し、教科の見方・考え方を働かせて課題解決させること
- ・教科の学習用語を使い、根拠を明確にして適切に表現させること
- ・定期的に教科長会を行い、教科共通の取組について進捗状況を確認し、その後の工夫・改善につなげた。

(3) 主体的・対話的に学ぶ探究的な授業づくりの実践研究

①平成30年度は授業スタンダードを基に「課題に対して自ら考える力」や「話し合っ解決しようとする力」の育成に向けた取組を行った。その取組を生かしながら、令和元年度は「国語科授業づくり講座」において、学習指導要領（平成29年告示）の趣旨を踏まえた主体的・対話的な授業づくりについての研究を行った。教科部会の中で、単元で付きたい力を明確にし、単元構想を作成した。また、授業のゴールに向け、生徒が教科の見方・考え方を働かせながら主体的に学べるような学習活動とは何か、その日の学習を振り返り、次時の課題へどうつながっていくか、などを検討した。「国語科授業づくり講座」での実践は、教科長会等で周知し、他教科においても単元構想を作成するよう確認した。

年度当初の教科長会で、「めあての工夫」を教科共通の重点取組として確認した。各教科部会の中で、生徒が主体的に取り組める「めあて」をどう設定するかについて研究を重ね、授

業後は「めあて」が適切であったかの検証を行い、その後の改善につなげた。

②年度当初、生徒全員に「学習の手引き」を配付し、各教科のノートづくりを含めた学習の仕方、ポイントについて周知した。また、授業の中では、生徒の表現力の向上に向け、「思考を整理させる」「自分の考えの根拠を明確にさせる」ことを目的に、個人思考の際に自分の考えをノートに書かせる指導を行うことを全教科で統一して取り組んだ。また、自分の考えだけでなく、友達と意見を交流することで新たに気付いたことや考えたことをノートに記録させることで深い学びにつながるようにした。

また、思考の過程を残すノートづくりを目的に、見本となるような生徒の良いノートを校舎内に掲示する「グッドノート」の取組を行った。学力向上部会と5教科担当の教員が連携し、各教科のノートの選定を行った。選ばれたノートには、担当教員がグッドポイントを付箋に書き、ノートと共に掲示することで、生徒にとって工夫のポイントが分かるようにした。

(4) 学力調査を活用した組織的な取組

①平成30年度は教科長会が不定期だったこと、教科部会が隔週だったこともあり、各教科の取組の進捗状況の把握、検証が不十分だった等の課題があったが、令和元年度は教科長会を校内研修後に行い、教科部会を毎週行うことにより教科間の連携を図ることができた。

②「全国学力・学習状況調査」「高知県学力定着状況調査」等の結果から、教科部会で、各学年の教科における生徒の強みや弱みを分析し、今後の改善策について確認した。その後、校内研修の中で各教科から分析結果を報告し、全体で情報共有した。また、全教科で取り組む改善策についても協議・確認し、全体の取組につなげた。

各種学力調査の分析を基に、教科長会では、課題解決的な授業づくりに向けて、学習のめあての工夫や具体的な言語活動の設定の仕方、図書資料の有効な活用方法、各教科での生徒の学力の定着状況や実際の様子などについて協議した。また、各教科の課題から、授業改善に向け、他教科の視点でそれぞれの教科への助言等を行った。教科長会で協議・確認した内容は、各教科部会で共有し、その後の授業改善につなげるよう取り組んだ。

(5) 読書活動の推進

①平成30年度は、本校の図書館が生徒の教室から遠く、生徒が足を運びにくいという課題があったため、校舎内の様々なところに図書コーナーを設置する取組を行った。その取組を生かし

て、令和元年度も、各学年の教室前の廊下には、教科に関連した並行読書のコーナーを設置した。また、いちばん生徒の目に触れやすい職員室前や生徒玄関周辺などにも図書コーナー

(写真1)を設置した。特に生徒玄関では、生徒が世の中の出来事や最近の情報をすぐに手に入れられるように、新聞や観光パンフレットなど、あらゆるジャンルの本や雑誌、資料を並べた。学校図書館に必要な資料がない場合は、地域の図書館と連携して準備する等、生徒が多様な本に触れられるように配慮した。



写真1：生徒玄関前の図書コーナー

「調べ学習室」(写真2)は、学校図書館とは別に、自然科学、社会学、人権・戦争と平和、教科コーナー、防災学習、修学旅行資料など、調べ学習の際に活用するため、幅広いジャンルの本をすぐに手に取ることができるように整備した。



写真2：調べ学習室

生徒の読書への興味付けや地域とのつながりを目的に、「読み聞かせボランティア」を月に1回実施した。読み聞かせる本の選定は、地域ボランティアの方が自ら行き、読後には読み聞かせボランティアの方と学校長や学校図書館担当が入って感想会を開いた。実際の生徒の反応や学級の様子、ボランティアの方がどのような思いで読み聞かせを行い、本を選定しているのかなど、意見交流を行った。

生徒が多様なジャンルの本に触れられる機会をつくることで、より一層本に魅力を感じてもらうことを目的に「選書会」(写真3)を毎年10月に行っている。生徒から購入希望アンケートを取り、希望の多い本については、学校で購

入し学校図書館で借りられるようにしている。また、教員が授業に活用できそうな図書資料を選定する機会ともなっており、生徒と一緒に選書を楽しむ時間として設定している。



写真3：選書会の様子

4. 成果と課題

・リーディング・スキル・テスト(RST)の結果(図1)から1回目の数値に比べ、2回目の数値が上昇しており、基礎的読解力が向上していることがうかがえる。

H30.7(1回目)	R1.5(2回目)
全体数値平均(全学年)	全体数値平均(2・3年)
52.9%	55.3%
学年別数値平均(6項目)	学年別数値平均
1年生 45.7%	2年生 52.7%
2年生 51.9%	3年生 57.9%
3年生 61.1%	

図1：RSTの学年別数値平均

・RSTの結果を項目別で見ると(図2)、すべての項目において2回目の数値が上がっている。特に「推論」や「具体例同定」については、大きく数値が上がっている。「自分の考えの根拠を明確にさせる」「教科の学習用語を使って、自分の考えを説明させる」等、教科共通の取組が、数値の上昇に結び付いているのではないかと考える。

	2年生		3年生	
	2018	2019	2018	2019
係り受け	55.3	62.7 (+7.4)	62.5	69.4 (+6.9)
照応解決	56.2	59.9 (+3.7)	62.3	66.5 (+4.2)
同義文判定	62.3	64.2 (+1.9)	65.8	70.9 (+5.1)
推論	42.6	53.6 (+11.0)	52.5	60.0 (+7.5)
イメージ同定	36.5	39.7 (+3.2)	38.5	43.7 (+5.2)
具体例同定	21.3	36.1 (+14.8)	29.7	39.1 (+9.4)

図2：RSTの項目別結果

・生徒の授業評価アンケート(図3)から「教材研究」の数値が上がっている。中でも「意欲的に取り組めるめあてや課題であったか」「相手や目的に応じて自分の考えと、その根拠を明確に整理し、表現することができた」がともに3.8と高い数値を示していた。これは、授業の「めあて」や言語活動の工夫に取り組んだこと、生徒に学習の見通しをもたせるための工夫に取り組んだことが、

生徒の学習意欲や主体性を高めることにつながったのではないかと考える。

「指導技術」の項目については、平成30年度末に比べ、低い値を示している。これは、各教科等で図書館資料は活用しているものの、それ自体が目的化してしまい、生徒の知識や考えを広げたり、深めたりすることに十分につながっていないのではないかとと思われる。

	H30.12	R1.5	R1.12
教材研究	3.6	3.7	3.7
授業構成	3.5	3.6	3.6
指導技術	3.3	3.2	3.2
生徒理解	3.7	3.7	3.7

図3：授業評価アンケート（生徒）

・「授業づくり講座」の実践から、単元づくりのプロセスや教科の見方・考え方を働かせる課題設定の工夫などを学び、それを教科長会や教科部会の中で共有しながら、授業改善に向けて連携を図ることができた。

・令和元年度高知県学力定着状況調査の結果（図4）から、「読む力」が十分に定着していないことが課題として見えた。さらに既習事項が未定着であること、基礎的な語彙力が不足していること、課題意識・目的意識をもって文章を読み解くことができていないなどの様々な課題が見られた。そのため、今後はこれまで以上に資質・能力ベースの授業づくりに向けて取組を工夫、改善していく必要がある。引き続き、授業改善に向け、全教科で足並みをそろえていく。

(1年) 56.9 (県比+0.7)	
国語：62.9 (-1.5)	
社会：51.0 (-1.6)	
数学：60.8 (+5.9)	
理科：53.3 (+0.8)	
英語：56.3 (+0.1)	
(2年) 55.9 (県比+2.6) 1年時より+2.5UP	
国語：64.7 (-0.5)	1年時より+0.7UP
社会：51.2 (+3.5)	1年時より+1.5UP
数学：58.2 (+7.9)	1年時より+4.1UP
理科：56.1 (+0.3)	1年時より+1.8UP
英語：49.4 (+1.9)	1年時より+3.8UP

図4：令和元年度高知県学力定着状況調査結果